

## 令和7年度富山県生物学会総会 議事録

日 時：令和7年5月17日（土）

場 所：富山県中央植物園

参加者：布村、稲村、中田、福田（保）、山崎、高橋、杉田、金子、福田（剛）、福田（有）、  
澤田（昭）、澤田（研）、上利、高畑、永井、南部（治）、不破、草間 計18名

総会協議題

1 令和6年度事業報告 『富山の生物』64号 p150「学会記事」に掲載

2 令和6年度会計報告 令和7年度予算案 資料①

3 令和6年度会計監査報告 石須秀知氏と吉田めぐみ氏が監査 資料②

不破：監査員から予算の費目について分かりやすくするよう提案があったので、変えていく。

4 令和7年度役員 資料③

稲村：参加されない役員については、今後の対応が必要と思われる。

5 令和7年度事業予定 『富山の生物』64号 p151に掲載

公開講演会 5月17日（土）中央植物園で開催

総会 5月17日（土）公開講演後開催

生物総合調査 6月29日（日）・9月28日（日） 鍛冶川水系 別紙④

公開観察会 8月17日（日）有峰森林文化村と共催（福田、草間、佐藤）

研究発表会 11月30日（日）富山市科学博物館

『富山の生物』65号発行 令和8年3月

『富山の生物』の公開（HP上）発刊後2年が経過したものをPDFで公開する

全員：異議なし

6 その他

○ レッドリスト事務費として¥35,000 余り残金あり ➡生物学会運営の予備費としたい。

「富山の生物」No64の印刷製本費は予算額を¥36,030 上回った。

100周年記念記事もあり、今年度(R7)の「富山の生物」No65の原稿について

例年より超過ページ分を配慮した予算組が必要。

来年度(R8)「富山の生物」No66以降は電子化する。

<オンライン出版について>

PDFデータだけの納品、および、J-stageへの登載代行は、印刷業者で受付可能。

現印刷業者は登載代行は未経験だが受注に前向きとの回答。

仮に64号をPDFデータだけの納品とした場合、モノクロでもオールカラーでも156,200円。J-stageへの登載代行業務は別途費用がかかるが、発注内容により価格調整できるとのこと。予算でできる範囲の業務を発注すれば問題ない。詳細は再見積もりが必要。

稲村：事務局の事務的な作業を極力簡素化したい。

現在は一般と学生で会費が異なるが、学会誌のオンライン化に伴い、会費を一律2000円にしてはどうか。また今後検討していきたい。

令和7年度に関しては、100周年の年でもあるので印刷したい。

○ 生物学会 100 周年記念事業について

実行委員会の発足

記念講演会 10 月 4 日（土）

場所：地鉄ホテルアルシェフ（担当：支配人・山根様）

15 時からイベント開始（例；4 各分野から、守りたい！富山の野生生物の姿（案）。

今後の生物学会の活動について等）

17：30（18：00）頃から懇親会（案）※有料

記念講演は富山の生物 No65「100 周年記念ページ」に記録。

記念誌発行

別紙⑤ 100 周年記念誌 作業日程案

100 周年記念誌（富山の小河川流域の生物Ⅱ）

別紙⑥ 100 周年記念誌体裁・執筆フォーマット

布村：記念誌の執筆に関して、どのような形でまとめればよいか。

高橋：河川ごとに各分類群の特徴をまとめ、後半で分類群ごとに総論を記す形式。

基本的には前回（2015 年）のものと同じ形式にするので、参考にしてほしい。

○ 県自然保護課からの依頼

稲村：次回の RDB 改訂にむけて経年的に少しずつ予算化したいと考えているとのこと。

県との話がまとまれば、当学会に毎年調査費が入るかも。

澤田：次回の RDB 改訂も生物学会が受けることが決まっているか。

稲村：現段階では不明。ただ、県は今回と同じような体制にしたいと考えていると思う。それも踏まえて、毎年少しずつ調査費をつけてもらえるように打診している。

○100 周年記念事業の実行体制

稲村：若手を中心とした実行委員（岩田、草間、白石、高橋、不破）が中心となって進めていきたい。